

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	1978
Jtitle	哲學 No.68 (1978. 10) ,p.166- 166
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000068-0166">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000068-0166</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

「哲学・第68集」をお届けします。第65集からの本誌の新しい体裁は会員諸兄のご協力と、前編集者の努力によりすっかり定着いたしました。これに安住することなく、よりよい「哲学」を目指し一層の充実のため努力したいと思っております。

\* \* \*

昨年度から本誌の年2回の刊行が実現いたしました。今年度もその趣旨にそって2回の刊行を予定しております。何分にも三田哲学会の財政的基盤が弱いため論文の掲載本数が今回は7論文となりました。この内別は和文が4論文、欧文が3論文です。幸いなことに塾からの特別補助も継続され、教職員会費も従来の二千元から三千元に引き上げられることになりましたので、次の69集では予算の許す範囲内で論文数を多くしたいと思っております。しかしながら、前年度の会計報告からも明らかなように、三田哲学会の財政は赤字であります。健全な会の運営のため、塾への補助の増額要求と共に三田哲学会自体でも一層の努力をする必要があると思われま

\* \* \*

例会は6月に行われ、発表者が経済学部の寺尾教授であったため各専攻科の学生が集り特定の分野に限られない議論が展開されました。今年度はさらに講演会と例会を企画していますが、そこでのテーマは学生からの希望をも取り入れて真に有意義なものにして行こうと思っております。会員諸兄からの積極的なご意見を望む次第です。

\* \* \*

次号の「哲学」(第69集)の原稿締切は10月末日で、刊行は1月末の予定です。論文は原則として、和文論文の場合、400字詰原稿用紙で本文40枚、注及び文献リスト8枚、欧文アブストラクト200語です。欧文論文の場合はA4タイプ用紙にダブル・スペースで16枚、アブストラクト200語です。論文応募、例会テーマ等に関してお問い合わせ、ご意見がございましたら幹事にお申し出下されれば幸いです。今年度の幹事は、西脇与作(編集担当)平野敏政(渉外担当)、石崎秀和(庶務担当)、内藤俊史(会計担当)の4名です。

(西脇与作)